

口頭⑤

造血器腫瘍患者のサポートを充実させるための取り組み

上野店
○笹本 千香子

【目的】

近年、がん化学療法は経口抗がん剤の増加や支持療法の充実により入院治療から外来治療への移行が進んでいる。造血器腫瘍における化学療法も同様であるが、未だ情報の少ない保険薬局では治療状況を把握し、適切な患者サポートを行うことが難しい現状がある。これは当薬局のみが抱える問題ではなく近隣薬局も同様であると考え、合同研修会を実施し患者サポート時に使用できる共通ツールの作成を目指した。

【方法】

近隣薬局薬剤師（6 薬局）を対象に多発性骨髄腫、白血病を題材とした合同研修会を開催。参加者に対してアンケートを実施し、多発性骨髄腫の患者サポート時に必要な項目を検討した。

【結果】

2 回の合同研修会における参加人数は各 20 名、アンケート回収率は 90%であった。アンケートより多数の薬剤師が造血器腫瘍患者のサポートをテーマとした研修会の必要性を感じていることが分かった。

多発性骨髄腫患者のサポートシートを作成し、共通ツールを用いて処方箋や患者インタビューから、治療状況や副作用発現状況を確認する取り組みを開始した。

【考察】

今回の取り組みは、薬剤師の知識レベルを向上させると共にがん患者への積極的なアプローチにつながった。また薬局間連携の足がかりともなった。今後も研修会を定期的に行い、地域連携の強化、がん患者に対する支援の充実を目指す必要があると考える。